

令和5年度 学校法人盛岡学園みなみ幼稚園 教諭自己評価

対象 教諭9名 経験年数 6年～31年（平均18.1年）

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
I	保育の計画性				
1	園の教育理念・教育方針の理解	56	44	10	0
2	幼稚園教育要領・保育所保育指針の理解	0	100	0	0
3	教育課程の編成と評価	57	43	0	0
4	指導計画の作成	83	17	0	0
5	環境の構成	33	67	10	0
6	保育と計画の評価・反省	0	78	22	0
<p style="text-align: center;">上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎指導計画に基づいて、幼児が主体的にかかわりたくなるような環境構成をすること。</p> <p>◎安定して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境構成をすること。</p> <p>◎自分の保育と評価・反省について次の保育と計画に活かせるように行うこと。</p>					
II	保育のあり方、幼児への対応				
1	健康と安全への配慮	89	11	0	0
2	幼児のみとりと理解	44	56	0	0
3	指導とかかわり [心のよりどころとして]	78	22	0	0
4	〃 [遊び・活動の援助者として]	44	44	12	0
5	保育者同士の協力・連携	43	56	1	0
<p>◎個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解することができること。</p> <p>◎「一人ひとり」と「みんな」の関係を常に考え、クラス集団をまとめること。</p> <p>◎幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイデアを提供すること。</p> <p>◎幼児の家庭環境や、これまでの生育歴などを考慮してかかわること。</p> <p>◎クラスに関係なく、その場にいた教諭が適切な言葉かけや対応をして、情報を共有すること。</p> <p>◎他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫、教育保育の形態を取り入れること。</p>					
III	保育者としての資質や能力・良識・適正				
1	専門家としての能力・良識・義務 [専門家としての能力]	22	67	11	0
2	〃 [良識とマナー]	89	11	0	0
3	〃 [義務]	78	11	11	0
4	組織の一員としての在り方	44	56	0	0
5	まわりを感じ取れる感性・アンテナ	43	56	11	0
<p>◎保育にたずさわる者として、専門知識や技能を身につけること。</p> <p>◎保護者に対し、幼児のことや自分の保育のことをわかりやすく話すことができること。</p> <p>◎締切りのある仕事や提出物にある締切日、会議の打ち合わせの時間を守ること。</p> <p>◎当番や役割による仕事を理解し確実にを行うこと。</p> <p>◎幼児の教育・保育に関する情報を日頃から得ようとする事。</p> <p>◎社会情勢や季節の変化などを感じ取る感受性を大切にすること。</p>					

	評価項目	自己評価 %			
		A	B	C	D
IV	保護者への対応・守秘義務				
1	情報の発信と受信	22	78	0	0
2	協力と支援	88	12	0	0
3	守秘義務の遵守	78	22	0	0
4	対応上のマナー・良識	73	67	0	0
5	クレームへの対応の仕方	57	43	0	0
<p>上記項目の自己評価に対する課題と思われること</p> <p>◎一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握すること。</p> <p>◎親しくなったからといっても、友達同士のよう話し方をしないこと。</p> <p>◎正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて話しかけ、相手の話も落ち着いて聞くこと。</p> <p>◎保護者からの依頼や伝言等については、メモをするなどして間違いなく対応をすること。</p>					
V	地域の自然や社会とのかかわり				
1	地域の自然・人々とのかかわり	23	67	0	0
2	小学校との連携・接続	11	89	10	0
3	地域の特徴を生かした保育の展開	0	56	44	0
<p>◎小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するように努めること。</p> <p>◎地域の気候を生かした保育を実践すること。</p> <p>◎高齢者との交流を行うこと。</p>					
VI	保育の専門性に関する研修・研究への意欲・態度				
1	研修・研究への意欲・態度	13	62	25	0
2	遊具・教材に関する専門性の向上	44	44	12	0
3	園内の環境に関する専門性の向上	0	56	44	0
4	今日的課題に関する専門性の向上	33	67	0	0
5	自ら高めるための学習	33	33	33	0
<p>◎研修会や研究会には自己課題をもって参加し、事前にその内容を確認し自分なりの考えをまとめること。</p> <p>◎自分の保育については自己課題をもって計画と反省を行うとともに、保育のあり方や悩みについて話し合うこと。</p> <p>◎園の遊具や教材についてその特徴や基本的な使い方、危険な使い方などを知ること。</p> <p>◎園舎の構造や保育室・体育館などの位置・大きさがどのような教育的な意味をもつか理解すること。</p> <p>◎園庭や砂場、かくれ場所などの位置、広さなどがどのような教育的な意味をもつか理解し、保育に生かすこと。</p> <p>◎アレルギー・自立の遅れなど、最近多く見られる課題について興味・関心をもち学ぶこと。</p> <p>◎保育の専門知識や技能のほかに趣味や読書、ボランティア活動等にも関心をもつこと。</p>					